

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2022 年 10 月 新刊のご案内

美学 ご担当者さま

中世の美学 トマス・アキナスの美の思想

ウンベルト・エーコ (イタリアの小説家、文芸評論家、哲学者、記号学者)[著] /

和田忠彦 (東京外国語大学名誉教授)[監訳] /

石田隆太 (同志社大学文学部助教)・石井沙和 (東京外国語大学にて博士)[訳] /

山本芳久 (東京大学大学院総合文化研究科教授)[解説]

四六判上製 / 412 頁 税込予価 4,950 円 ISBN978-4-7664-2846-9 C3010

👉 ココに注目！

- ・エーコの原点、待望の翻訳。
- ・美という身近な視点から、中世とトマスを論じ尽くす！

「中世に美学はない」と言われていた初版刊行当時（1956 年）、トマス哲学や中世そのものの世界観の中心に「美学」が深く関わっているというエーコの論点は先駆的なものであり、刊行から半世紀以上を経た現在でも、その内容は全く古びていない。中世研究・美術史研究の分野で基本書となりうる、本格的な中世美学論。

対象 美学・美術史を専攻する研究者、エーコ作品の読者

類書 ウンベルト・エーコ『中世美学史』（而立書房）

営業部からのおすすめポイント

原著は、1954 年の卒業論文をもとに 1956 年に書籍化された後、1970 年に大幅に改訂され、現在まで版を重ね続けています（本書は改訂版の翻訳になります）。作家・研究者エーコの生涯を決定した「原点の一冊」とであると、エーコ本人も生前述べていた作品。中世を題材にした小説群を理解するためにも不可欠なものですので、ぜひ美学ジャンルの定番書として、息長い展開をお願いいたします。

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

1970 年版へのまえがき

第 1 章 中世文化における美学

歴史／中世の美的感覚／トマス・アキナス／美的喜びの可能性／課題

第 2 章 超越的なものとしての美

問題設定／事物の美学的ヴィジョン／トマスのテキスト／現代の解釈／13 世紀の哲学における超越的美

第 3 章 美学的直視 (visio) の機能と性質

問題設定／中世のテキスト／アキナスのテキスト／美学的直視 (visio) ／トマスにおける知的直観

第 4 章 美の形式的評価

テキスト／形式の概念／調和 (proportion) ／歴史的データ／トマスにおける均衡の概念／
完全性 (Integritas) ／光輝 (Claritas) ／歴史的データ／トマスにおける明瞭さ

第 5 章 具体的な諸問題と応用

神の息子の美／人間の美／音楽の美／遊びと遊び心に溢れた詩／象徴的な態度／普遍のアレゴリー／
聖典と詩的アレゴリー／トマスのアレゴリー論／教訓的パラボリズム／トマス主義的詩学／トマスとダンテ

第 6 章 技巧の理論

技巧と発明／技巧的形式の存在論／技巧的形式と美学／美術の自律の可能性／技巧の自律の曖昧さ

第 7 章 判断と美的直視

美的直視の機能／美的直視の性質

結論

トマス美学の中心的アポリア／ポストトマス主義における形式概念の消滅／美学的範疇と中世社会／
トマス主義の方法論と構造主義の方法



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊 委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			ウンベルト・エーコ 著／和田忠彦 監訳／石田隆太・ 石井沙和 訳／山本芳久 解説 中世の美学 ートマス・アキナスの美の思想 ISBN978-4-7664-2846-9 C3010	4,950 円	★★★★

★1 つで「500 部」を表します